

**エムティーアイと中国銀行がデジタル活用による地域貢献プロジェクトを開始！  
～地域を豊かにする ICT・モバイルサービスのビジョンとロードマップを協同構築～**

スマートフォンを活用したヘルスケアやフィンテックサービスを展開する株式会社エムティーアイ(東京都新宿区、代表取締役社長:前多俊宏 以下、当社)は、この度、株式会社中国銀行(岡山県岡山市、頭取:宮長雅人 以下、中国銀行)との協働プロジェクトを発足し、新たに金融機関向けコンサルティングサービスを開始します。

**◆地域に根差したモバイルサービスの実現により、日々の生活をもっと豊かに！**

中国銀行は、岡山県を中心としたリーディングバンクであり、金融業界の中でも先駆けて API<sup>\*1</sup>の構築や各種フィンテックサービスとの連携を行うなど、生活者を第一に考えた金融サービスのデジタル化を積極的に進めています。今回、『ルナルナ』や『music.jp』などで培ったユーザー目線のサービス提供ノウハウを活用することで、より生活者のライフスタイルに即したサービス提供を図るため、当社との協働が実現しました。ICT やモバイルの活用によってより生活を便利に、豊かにしていくために、中国銀行と協力しながら新たな価値の創出を実現していきます。



**《プロジェクト概要》**

積極的なデジタル化を推進する中国銀行に、長年にわたるコンテンツ提供の実績を持つ当社がサポートを行い、そのノウハウを生かすことで、生活者を豊かにするための ICT・モバイルサービスのビジョンとロードマップを協同構築し、サービスの活用促進をしていきます。本プロジェクトは約 6 カ月の期間を予定しており、まずは各種調査・分析から開始します。

また、本プロジェクトでは中国銀行が提供する個人利用者向けアカウントの「ちゅうぎん ID」とオープン API の活用を視野に入れ、当社オリジナルの高速プロトタイプ開発モデルを並行で実施し、1 カ月程度でさらに便利で豊かな生活と、中国銀行の課題解決が可能となるアイデアを形にします。

将来的には、変化に応じて協同構築したビジョンやロードマップを継続的に磨き上げ、生活者との接点を増やすとともにより強固なものとし、一人ひとりの生涯に寄り添う持続可能なサービス提供を実現していきます。

当社は、今後も地域に根差したソリューション提案やサービスの企画開発を通して、「地域生活を、一步先へ。」の実現をサポートします。

**■中国銀行について**

中国銀行は、預金残高 6 兆 3,831 億円を持つ、岡山県を中心に 162 店舗(うち海外支店 1・インターネット支店 1)を展開する地方銀行です。『自主健全経営を貫き、ゆるぎない信頼と卓越した総合金融サービスで、地域社会とともに発展する』を経営理念とし、地域への貢献を全力で取り組み、どのような環境変化の中にあっても不変の健全性を維持する姿勢を大切にしています。中国銀行の詳細は <https://www.chugin.co.jp/> をご覧下さい。

\*1: Application Programming Interface の略。複数のシステム間でデータをやりとりする際に必要な技術的仕組み。

報道関係の方からのお問い合わせ先

株式会社エムティーアイ 広報室  
TEL : 03-5333-6323 FAX: 03-3320-0189  
E-mail : [mtipr@mti.co.jp](mailto:mtipr@mti.co.jp) URL : <http://www.mti.co.jp>

本サービスに関するお問い合わせ先

株式会社エムティーアイ ソリューション事業部  
デジタルトランスフォーメーションサービス部  
TEL: 03-5333-6405 E-mail: [fintech.info@mti.co.jp](mailto:fintech.info@mti.co.jp)